

読む得! 在宅医療と介護の連携

～身近な事例から～ 第17回

歯周病による糖尿病・新型コロナウイルス感染症の影響

訪問診療で、早期治療につながったケース

糖尿病により目が不自由なAさん84歳。自身の歯で不自由なく食事をしていますが、訪問歯科健診で歯周病と診断され、歯のクリーニングを受けました。



訪問歯科医師から「歯周病の細菌は糖尿病を悪化させる。口の中を清潔な状態に保つと糖尿病も改善する」と説明を受けました。また、「歯周病にかかっている人は新型コロナウイルス感染症の死亡リスクが約9倍になる」と聞き、予防の大切さを感じました。そのため、口の中に痛みなどはありませんが、糖尿病の進行を抑えたり、新型コロナウイルス感染症で重症化しないように、定期的に訪問歯科で歯のクリーニングをしてもらうことにしました。

☆ポイント☆ 訪問歯科は治療だけでなく、歯のクリーニングや体の病気に合わせて口の中のアドバイスもします。特に歯周病は痛みを伴わず徐々に進行することが多く、気が付いた時には重度の方も多くいます。歯を失う1番の原因でもあるので、口の中に痛みなどの症状がなくても、全身の健康を考えて定期的な歯のクリーニングをお勧めします。